

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]												
(1) 理念の明確化												
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	3	15					11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほぼできている」と回答した職員数が、「できている」と回答した職員を大幅に上回るため、全員が理念をしっかりと理解できるような取り組みがあるとよい。 ・相談した事例も本人家族の意向を尊重し、在宅では難しいと言われた医療側の判断ではあったが、常に在宅維持のため協力的である。 ・推進会議にて理念をきちんと伝えていきます。 ・定期巡回時には毎回親切にしてもらっている。 ・安心して在宅生活が継続できるように、定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスを提供されていると思います。 事業所の評価が「できている」にチェックがつくよう今後も園の方針や理念は事業所全体でしっかりと理解して取り組んでいかれることを願います。 ・介護が必要になっても、住み慣れた生活を継続するための支援をしていくことを、職員皆さんが基本理念に感じています。 ・管理者を始めとし、職員ひとりひとりが法人・園の理念を理解し、理念に沿った援助を実施するよう努めていると思います。 ・会議の委員メンバーも多岐にわたり、みんなで共有することで地域に根差した取り組みを行おうという姿勢が表れている。 ・利用者のニーズに応じて在宅での安心した生活ができるよう、サービスの提供をお願いしたい。 ・理念を理解して取り組んでいると思います。 ・十分できていると思います。

①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	5	13					<ul style="list-style-type: none"> ・当該サービスの特徴及び理念について研修を通し、職員全体で認識し質の高いサービス提供が行えるよう努めている。 	9	12		<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼできている、と回答した職員数が、できていると回答した職員を大幅に上回るため、全員が理念をしっかりと理解できるような取り組みがあるとよい。 ・理念を十分認識していると思います。 ・毎回トイレ介助をして頂いている。 ・管理者が、職員に声かけしている様子から、日々適切なコミュニケーションをとっていることが理解できます。 ・定期随時サービスの地域包括ケアシステムの社会的必要性・役割を踏まえ、職員が理解していると思う。 ・研修を通して質の高いサービスが行えるように努力しているとのことなのでおおよそできていると判断した。 ・会議での内容・意見の反映・取り組みの努力を感じます。 ・職員全体で、努力していることがわかります。 ・していると思う。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	4	11	3			<ul style="list-style-type: none"> ・個人研修、毎月の研修を設けて、目標を掲げ、目標にあった研修を受ける、職員のスキルアップへと繋げる機会を設けている。 ・オペレータ判断に迷う際、事業所内でアドバイス、情報共有できる機会が確保できている。 ・オペレーターの判断能力の質の向上に努めた研修等を取り入れオペレータ技術向上に繋げていく必要がある。 	7	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった目標を立て、どういった研修を受けているのか分かるかと評価しやすいと思います。 ・利用者の個々に対するケアプラン対応の仕方のトレーニング、症例検討会。 ・ほとんどのの方が、ほぼ出来ているという評価なので良いと思いますが、3名の出来ていないことが多い方のコメントを評価に盛り込めれば良いと思います。 ・できていないと回答した職員のスキルアップのための面接などは行っているでしょうか。 ・オペレーター技術向上のための研修として、どのような内容を検討されているでしょうか。グループワーク、事例検討、演習など効果的な内容で実践されるとよいと思います。 ・相談を持ちかけても慎重に相談(所内で)検討している。 ・研修計画も会議で聞いています。 ・色々な研修を企画・実施されていると思います。年々オペレーターの方の対応は向上されていると思います。 ・巡回時に体の変化に気付いてもらった。 ・オペレーターの判断能力の質の向上に努めた研修を取り入れ技術向上に繋げていく必要があると感じているところを今後取り組んでほしいと思います。 ・<ケアハウスでのことしかわかりませんが>コールの電話を受けている落ち着いた様子から、研修等が適切に行われていると感じられます。 ・職員ひとりひとりが積極的に研修に参加し、自己研鑽に努めていると思う。 	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]											
(2) 適正な人材の育成											
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	2	13	1	<ul style="list-style-type: none"> 職員それぞれの能力に合わせた訪問、業務が行えるよう配慮し、個々の能力が発揮できる業務調整に努めている。 管理者は、職員が年間を通した掲げた目標が達成できるよう業務、研修等の参加への取り組みがなされている。 	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 管理者を中心に、新人職員の面談や指導をきめ細かく行っている様子が見られます。中心となる職員は、業務に対する意識が高く、適切な目標設定をしていることが予想できます。 それぞれの能力や特性が発揮できる業務調整だけでなく、誰が訪問に行っても同様の質のサービスが提供できるようにして頂きたいと思います。 できていないことが多いと感じている職員に対する具体的な改善策が必要だと思えます。 職員の能力を考え業務調整している。 	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会の確保が十分に確保されている	5	13	<ul style="list-style-type: none"> 介護職、看護職の間で利用者の状況を理解認識する機会として、タブレットを使用し互いに情報提供、状況確認がリアルタイムで確認できる体制が確保されている。又、介護職・看護職が同一建物に配置されており、その都度状況確認が行える。 タブレットによる情報共有での共通認識や看護職を講師に招いての研修機会が設けられている。 	7	8	<ul style="list-style-type: none"> 看護の報告書が分かりやすくなった。 タブレットや現場での情報共有が出来ており、研修も行われているようで良いと思います。 電子媒体を活用した情報共有は時間も有効に使えるため適した手段ですね。看護職を講師とした研修会の内容はどのようなものでしょうか。年にどれくらいの頻度で行うのでしょうか。 タブレットの活用により情報共有できていると思います。 事務所が隣ということもあり、何かあれば話をすることが容易なのかと思います。タブレットでの情報共有はもちろんですが、顔を合わせての情報交換が日常的にできることは良いことだと思います。 同一建物内と言う特性を生かし、タブレットでは明らかにならない情報や問題を日々のコミュニケーションの中から共有出来ている。 タブレットを使用して情報共有できていることは素晴らしいと覆います。タブレットだけではなく、ミーティングも行われているのでしょうか。 看護と介護が同じ建物に配置されていることは、事業所の強みになっていると思う。 タブレットでの連携はとても助かっています。 タブレットの記録を確認することで、状況把握できる。事業所が違ってもリアルタイムに情報共有できる。 		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	3	15		<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の身体、性格などに合わせた訪問ができるよう、業務作成が行われている。 管理者のチェックがあり、配置等にも工夫がなされている。 必要な訪問回数に柔軟に対応する為にシフト変更し対応が出来る。 サービスについては利用者にとってより良いサービスを提供出来ているのか？、時間に追われ内服のミス等が少しあるように思う。 	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の状況に合わせたシフト変更が柔軟に行われていると思います。 その日の受診やデイ・ショート等のご利用などもあり、シフト作成は難しく、日々気を抜けないことと思います。作成する管理者と、それに対応して業務する職員の皆さんに心から敬意を表します。 少ない職員数の中、それぞれの利用者様の個別性に合わせたサービスが柔軟に提供出来ていると思う。 配置やシフトについては、よくできていると思いますが、内服のミス等があるのは考えて改善しなければならない。 利用者に合わせて訪問をしていると思うが、希望に添えない方もいられると思います。利用者の思いをできるだけ汲み取って頑張ってもらいたい。 		

②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	4	13	1		<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容は全スタッフに伝わっていない事もある。周知徹底の工夫が必要。 ・適時に開催されている。得られた助言についてはしっかり事業所内で評価し、より良いサービス提供へ反映させる様、検討を行っている。 ・サービスに関する意見は無いが、事業所運営に対する提案を実施した。(まもーる通信など) ・職員全員に伝わっているとは感じにくい。 	1	17		<ul style="list-style-type: none"> ・会議の内容をいかにわかりやすくするか、共通認識とする方向性の検討。 ・会議の内容をどのように周知していますか。回覧、自由閲覧では職員によって意識の高い人でないとなかなか自発的にみることもないかもしれません。 ・会議の場で出た意見に対し、きちんと対応していると思いません。 ・定期巡回サービスも市内5事業所に増え、会議内容の周知は中々難しい面でもあると思います。今後もまもーる通信を活用しながら職員さん他、地域の方にも伝わって行くといいですね。 ・事業所コメントで書かれている通り、スタッフ間で共有できるよう、工夫されるとよいと思います。 ・現在、会議内容はどのように周知されているのでしょうか？特に連携推進会議に出席されていない職員には充分会議内容がお知らせできるように工夫をお願いします。 ・介護・医療連携推進会議は適切に開催されており、そこでの意見・内容は会議録により、委員に伝えられている。提案等が反映されているかまでは判断できず。 ・タブレットの活用・電話で積極的に連携は取れていると思うが、これからも見落としのないよう努力して欲しい。 ・要望助言を反映できるように工夫されている。 ・なかなか会議に参加できず、申し訳ありません。 ・確認済事項が全スタッフに伝わっていないこともあるようですが、その際においても、あらためて周知する対応はして下さっているように思います。 ・外部からはわかりにくいですが、会報やまもーる通信などで伝達の工夫が見られる。 ・していると思う。
---	---------------------------	---	---	---	----	---	--	---	---	----	--	---

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備													
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	10		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットへの入力情報が随時更新されているが、時々古い情報のままのことがある。 ・タブレットの活用により、利用者の変化、異常等は迅速に対応できる。又は緊急な場合は口頭で申し送りし迅速に対応努力している。 ・タブレットを使用し、介護、他機関との連携、情報の共有は出来ている。 ・タブレットの経過観察で見逃されてしまうことがあるため、重要なことは「変化あり」でしっかり上げるよう、職員一人一人が注意する。 ・タブレット入力時に情報確認がしやすいようタグ付をしたりして早く情報を確認できる様工夫している。 	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの活用が充分になされていると思います。ただフェニックスに参加していない事業所への情報の提供はどのようになされているのでしょうか？ ・事業所評価でも、共有できていると感じている職員に方が多いようです。引き続きお願いします。タブレットでの管理はすごく便利だと思いますが、個人情報の管理に十分気を付けてほしい。 ・迅速に情報共有できるように工夫している。 		

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
(5) 安全管理の徹底													
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	4	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修など行っているが、夜間の出入りは不安に思うことがある。 ・事業所内で研修や防災訓練を毎年行っている。ヘルパー内で安否確認者リストを作成して、災害時に迅速に確認できるようにしている。 ・想定外の災害や事故等の際は、今後課題を要する。 ・災害時対応等のマニュアルを緊急時にしっかり活用できる様、職員一人一人が保管場所やマニュアルを定期的に再確認する必要がある。 ・いつどの様な災害が起こるか分からない為、もう少し様々な場面を想定した災害の対策をしていくべきだと思う。 	7	13	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先での災害の対応の仕方。 ・先般の台風19号の際には、夜遅くまで利用者全員の安否を確認された聞き、さすがこぶしさんと関心しました。管理者の方のみならず、職員全員が同じ行動ができるようにマニュアルを整備し、いざと言うとき行動できるよう当事業所も見習いたいと感じた。 利用者の安全も大事であるが、それよりも職員の安全が第一なので、命の危険を冒してまで訪問するようなことがないよう祈ります。 ・よくわかりません。把握していません。 ・マニュアルがあり、防災訓練等しているので大丈夫だと思います。本当に事が起こった時は誰もが不安があると思います。 ・フェニックスネット等、ネットワークの活用に使っていると思う。夜間の出入りは、年々犯罪も増えている所なので、職員さんが安心して出入りができる様、工夫が必要なのでしょうか。 ・今回の水害避難の連絡が来て安心できた。 ・本年6月の夜間帯の地震や、10月の台風・水害等の際も、安否確認や訪問の対応が迅速、適切に行われていました。大変な時に、頼りになったこと、頼りになることを、もっとアピールすると良いと思います。(自分たちからは、発信しにくいことでしょうか、私たち事業所外の者がもっと伝えていかなければいけませんね) ・10月の台風の際にはヘルパーさんを中心に迅速に安否確認して頂き、大変助かりました。 			

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
											<p>確認をして頂きました。災害時にはタブレットやテレビ電話はどのように活用できますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報No.7では台風19号で地域とともに動けたこと、早めに安否確認できたこと等あり、迅速に動いていたことは日ごろの対策の成果と考えられる。 ・常に安全運転に心掛け業務について欲しい。地域内の小路ではスピードを落とし、曲がり角等気を付けて欲しい。 ・夜間の訪問には、対策が必要だと思う。 ・地震・災害時の素早い安否確認は助かっています。職員の皆様が自分自身の安全を確保されて下さい。 ・会報にて、対策の確認ができ、適宜対策されていると思います。 ・今まで通りにしていればよい。 ・よくやっている。頑張っている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	9	9			<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりも更に取り扱いについては個人の意識も高いと思う。 ・個人が特定される物の持ち出しをしないようにし、タブレットにはパスワードロックしている。 ・常に個人情報の漏洩にならない様、申し送りをする環境や内容には注意している。 ・研修を通し、個人情報の取り扱い、保護について再度職員全体で周知する体制が出来ている。個人情報の保管方法についてはタブレット使用に伴い、再度保管方法の見直しが必要である。 ・メモ等は名前を伏せ、処分はシュレッダーを使用している。事業所以外の場では利用者に関する発言は厳しく指導されている。 	4				<ul style="list-style-type: none"> ・経験値を活かし、事業所、職員一人ひとりの個人情報取り扱いの意識が高いと感じています。 ・個人情報盗難を受け、以後継続して個人情報の取り扱いには十分な注意がなされていると思います。 ・高い評価なので、皆さん個人情報に対する意識は高いと思います。引き続き、このままお願いします。 ・個人情報はしっかりと管理されている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
II 過程評価(Process)												
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供												
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成												
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	2	16					7	8	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな提案を頂き、いつも助かっています。 ・退院時なども細かい点までアセスメントを行い、ケアが適正にできるよう努力している。 ・生活に着目してアセスメント等していると思います。 ・サービス提供の内容からみても、適切なアセスメントがされていることと思います。 ・生活リズムに沿ったサービスを提供する為には、十分な情報収集能力とアセスメント能力が必要になると思います。特定の職員だけでなく、全ての職員の能力が向上するように研修等を行っていただけたら良いかと思っています。 ・毎月評価をしているのは、すごいと思います。このまま続けてほしいです。 ・利用者の体調が安定しているとなかなか見直す機会が少ないと思うので、どの利用者も同じ様にアセスメントを行って頂きたい。 ・スタッフのスケジュール調整などにより、ニーズにそくした提供、利用受付が難しい実情があることは理解しています。常に受入れが可能な体制が今後整うことを期待します。 ・十分行えていると思います。

		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	2	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットなどで情報共有出来ている。 ・特変などがあった場合などは特に、両者の共有が出来ていると思う。 ・月に1回、アセスメント・モニタリングを実施し、内容はタブレット等での報告で共有されている。 ・担当者会議等で両者が意見し合い、情報の共有が出来ている。 	4	8	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のアセスメント・モニタリングの内容をみたことがないのでよくはわかりませんが、電子媒体だけに頼らず実際の突合せはやはり随時必要なんだろうと思います。 ・タブレット活用で共有出来ていると思います。 ・変化があった時は、時間をおかず情報が共有され、サービスに反映されていると思います。 ・タブレットに頼り過ぎないようにお願いします。しなのに関しては同一建物内に事業所がある為、普段から顔の見える関係が作られ、日常のコミュニケーションの中からタブレットには上がらない情報や問題を共有出来ていると思います。 ・できていないことが多いと感じている職員に対する改善策が必要だと思えます。 ・看護さんのアセスメントも見やすくなり、職員一人一人が意識しやすくなったと思う。 ・タブレットでの情報共有はとても助かっています。 ・タブレットの入力を通し、共有できるのですが、こちらの入力が滞ることが多く、すみません。日々の記録の中でもアセスメントに関して共有できていると思います。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネからのプランを元に計画書の作成を行っている。 ・在宅生活出来るよう、その方に合ったサービスプランを提供している。 ・その時の状態に合わせてながらも、なるべく機能維持、在宅生活継続の視点で計画されている為、回復までは意向されてない部分もある。 ・生活機能の維持は出来ているが、心身は内服や入浴のみのため、残存機能を活かした援助が出来る様になると良い。 ・専門職の具体的な意見を取り入れている。 	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ・看護などと協力し、よくやっていただけていると思います。 ・ケアマネジャーが提示した課題や方向性に考慮した計画になっている。 ・ケアハウスでの生活が維持・継続できている方が多いことは、ヘルパー援助によるものと感謝しています。高齢者の日常生活を考えたときに、このような外部評価項目に「回復」の文言が適切かどうか、悩みました。 ・心身機能の維持・回復を軸にしたプランは利用者様を全人的にアセスメントしないとできない事であると思います。その中で心身の側面については医療側からの情報が必要不可欠になるので、情報を得る時は多職種からも情報を得るようにして、適切なアセスメント、計画作成にして下さい。 ・できていないことが多いと感じている職員に対する改善策が必要だと思えます。 ・機能維持を重視した計画となっているが、結果的に回復している方が多いと思います。回復に向けた計画にすると更に機能向上になるのではないのでしょうか。 ・自立支援が基本であることは十分理解するところですが、時に自立支援を強調されることもあり、プランニングに苦慮することがあります。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の変化に対応できる計画が作成されている。 ・日々の訪問の中で、先を見越したリスクを発見し、予防に努める様なサービス展開を行っている。 ・本人の意思決定を優先しながらリスクマネジメントも行い計画している。 ・担当者会議で相談しながら変化を予測し、ケアプランの内容に沿って作成されている。 ・「転倒」「病気」になってから、計画を立て直しているため、日々のケアの中で予測できることは早急にアセスメントに反映できると良い。 	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・重症化している場合にも、在宅で生活できるよう工夫してケアを行う検討し、寄り添った関わり方への作成が出来る。 ・随時、利用者変化の報告や対応について連絡を頂き、ありがたいです。 ・利用者の少しの変化に対し、きめ細かに対応される状況が見られます。例えば、食事が進まない⇒スプーンが重いのではないかな⇒プラスチックスプーンの使用を試みる…など。 ・利用者様の今後を予測するには身体面からもアセスメントしないと出来ないと思いますし、その中で「予防」と言う観点からも考える必要があります。適切な計画は適切な医療との連携が重要になると思いますので、積極的に医療側から情報を収集して下さい。 ・できていないことが多いと感じている職員に対する改善策が必要だと思います。 ・具体的にどの様にリスクマネジメントをしているのか知りたい。 ・同意見です。ケアマネージャーとしても、そのための皆様からの情報が助かります。 			

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し											
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	13	5		<ul style="list-style-type: none"> ・コールがあった際は業務調整し、随時で訪問している。 ・状態に応じてケアマネと相談しながら、ご家族への伝えながら訪問を行っている。 ・利用者の状態変化やニーズに応じて訪問回数、日数を増やしたりし、柔軟に対応している。 ・体調不良や状態に変化があった際は様子確認や、必要なサービスを提案するために随時訪問をしている。 ・利用者の状況変化に対応し、利用者の状況に合わせたサービス提供の変化を柔軟に行える事が出来ている。 ・状況変化のある方は随時で安否の確認をしている。 	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・TV電話によるコールに即時対応することで、ご利用者。家族の安心感が大きいと思います。 ・6月夜間帯の地震の際も、TV電話での安否確認を行い、画面が暗かったり、応答がないお宅には優先的に訪問に行かれました。 ・少ない職員数の中、適切に随時訪問に対応していると思います。それには調整能力が必要になると思いますので、特定の職員に限らず、全ての職員の調整能力が向上できるよう努めて行って下さい。 ・できていると答えた職員が多く素晴らしいと思います。利用者のごことをいつも考えているんですね。 ・体調変化に応じて柔軟に対応している。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	6	12		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のモニタリングの前に状態変化があった場合はその都度伝え、計画への反映も行われている。 ・モニタリングは月に1回行い、利用者の状況の把握を行う。変化のある場合はケアマネと連携し計画の変更等の対応をしている。 ・毎月の評価を行い、計画作成責任者との話し合いで、ご本人に合ったプランの作成を行っている。 	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネット及び電話で連絡をいただき感謝しています。 ・定期的にモニタリングが行われており、適切な評価ができています。 ・日々の訪問においても、サービスが状態にあっているか、変化があったかをきちんと見ておられると思います。 ・忙しい日々の業務の中、モニタリング結果を文章化作成するにも時間がかかるとは思いますが、分かりやすく丁寧に作成されており参考になります。 ・引き続き、定期的なモニタリングを行って情報共有し、その結果を適切に計画に反映させるといいと思います。 ・利用者の状況変化に応じて、計画を変更している。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価						
				実施状況				実施状況						
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない			
事業所コメント				外部コメント										
II 過程評価(Process)														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供														
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	8	9					10	6			<ul style="list-style-type: none"> ・医療面での助言を受けながら、介護側でフォローできる事柄は実践されている。 ・看護とのカンファレンスを開いたりして状態や病状把握に努めていると思います。 ・看護職員さんと連携がとれていると思います。 ・口頭でも、タブレットを使用した写真などを使うなど、看護との連携ができていると思います。 ・互いの職能を充分理解し、それぞれの役割が遂行できるように努めていると思います。 ・お互いを尊重し合い、いい環境ができている。 引き続き宜しくお願いします。 ・看護を利用されていない方は、医療的な事が必要な場合、どの様に対応されていますか？ ・できていると思います。 ・利用者の状況に合わせ、柔軟に対応してもらえる、とても助かっています。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	8	9					7	6			<ul style="list-style-type: none"> ・介護と看護の定期会議などはあるのでしょうか。あるとしたらどれくらいの頻度で・・(会議内で発表があったとしたらすみません) ・看護とのカンファレンスを開いたりして状態や病状把握に努めていると思います。) ・事務所が隣ということもあり、細かなことでも日常的に連携ができていると思います。 ・同一建物内に事業所があると言うメリットを充分生かし、タブレットだけに頼らない情報の共有や適宜話し合いが行われています。 ・介護と看護の連携が取りやすい環境であるので、適切な連携が取れていると思います。 ・看護さんのアセスメントを経過紙で見れるようになったことは良かったと思う。 ・必要時又は質問があった際にはできるだけ、専門職の観点から助言するようにしています。

①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	14			<ul style="list-style-type: none"> ・行われているが、それ以上の要望があった場合は、その場で判断せずに事務所に確認、ご家族などの協力を得ながら要望に応えられる様にしている。 ・サービス契約時に本サービスの趣旨をしっかりと利用者、介護者に伝え、十分な情報提供、説明を行っている。利用者、介護者にわかる言葉を使用するように心がけている。 	1	7			<ul style="list-style-type: none"> ・家族、本人の説明は丁寧に行われている。理解不足を感じるたびに繰り返し説明を行っている。 ・一回では理解できない利用者様やご家族様もいると思いますので、その方々の理解力に合わせて、十分に理解できるよう確認しながら説明をお願い致します。 ・丁寧に対応していると思います。引き続き継続してください。 ・十分説明しても理解してもらえない方もいらっしゃると思いますが、苦慮していることはありますか？
---	------------------------------------	----	---	---	----	--	--	---	---	---	--	--	--

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
II 過程評価(Process)											
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(4) 利用者等との情報及び意識の共有											
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	5	13		<ul style="list-style-type: none"> ・説明は十分に行えていると思うが、相手側が理解されているか心配な面もある。(わかりやすい言葉を使うなどの配慮が必要) ・契約時やサービス開始時に計画内容の説明を行っている。 ・利用者、介護者が理解しやすい言葉(専門用語ではなく)で説明することで共通認識が得られ為の努力をしている。 	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・※ ご利用者・家族には、できていることと思いますが、今後ケアハウスのご利用者についての計画書等もケアハウスにいただけないものか、ご検討ください。 ・ご利用者様、ご家族様によっては一回では理解できない場合もあるので、確認しながら、その方々の理解力に合わせた説明をお願いします。 ・いろいろと工夫して相手に伝えようとしているのがよくわかります。継続してください。 ・目標を理解して生活している人は少ないと思う。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	7	11		<ul style="list-style-type: none"> ・変化あった時は、事務所に連絡し、看護やご家族に連絡している。 ・状況の変化(体調や言動)に応じてご家族やケアマネに対して速やかに連絡し、サービス内容に対しても応じた変更を行っている。 	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・※変化があるときは、ケアハウス職員にも即時にご連絡いただいていますし、ケアハウスからもヘルパーステーションに情報提供させていただいています。 ・適切に連絡・相談が行われていると思います。 ・報告はできていると思います。継続してください。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	5	13		<ul style="list-style-type: none"> 毎月のモニタリングにて利用者のサービス提供状況、心身、環境の変化等の情報も含め提供を行って情報共有に努めている。その情報をもとにサービスの提供日時等を共同で決めることが出来ている。 	4	4		<ul style="list-style-type: none"> 情報共有は関わりの中でとても重要であり、きちんと対応できている。柔軟に迅速に対応されている。 普段、ヘルパーさんがケアマネに連絡している様子を見聞きしています。適切に行われていると思います。 情報共有・報告ともにできていると思います。 ケアマネと共同で決めてられる。 随時の報告もいただいており、情報源として助かっています。 		
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	15	1	<ul style="list-style-type: none"> 訪問援助の中で必要と感じた事はヘルパー間で話し合い、ケアマネへ提案を行っている。 タブレットにて、ケアマネとも連携が取れているため、それを活かし積極的に提案をもっとしていくことが必要だと思う。 専門職としてもう少し積極的な介入が必要だと思う。 	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 現状ではあまり提案されていない。今後必要時には提案頂きたい。 迅速に対応して頂き、助かっています。 地域のインフォーマルサービス等も積極的に活用する視点を持ち、提案していけると良いと思います。 包括にも地域の情報等お声かけ頂ければいつでも情報提供、連携させて頂きます。 インフォーマルサービスに関する情報の提供や、実際インフォーマルサービスを利用している場合はインフォーマルサービスの方々とどのように連携しているのでしょうか？ できていないと答えた職員に対する改善策が必要だと思います。 インフォーマルサービスの活用は介護サービスを先に使ってしまうと難しいところがある。 		

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	13			<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のモニタリングにて、ケアマネへは利用者の状況等、情報提供を行っている。サービス担当者会議やカンファレンス等において多職種への情報提供を行っている。 ・それぞれの職種から見える課題等の情報交換はできている。 	3	6			<ul style="list-style-type: none"> ・直接話しをする機会は貴重なので、それぞれの立場からの意見交換が積極的にできるとよいですね。 ・担当者会議における情報提供はあるが、基本的にはケアマネジャーへの報告が多い。 ・多職種への情報提供を行うだけでなく、多職種からの情報を積極的にとるようにお願いします。 ・多職種との連携はとれていると思う。継続してください。 ・モニタリングや坦会以外に情報提供をすることはしないのか？
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	2	9			<ul style="list-style-type: none"> ・変化時には担当者会議等を通して情報共有し、検討している。 ・生活支援については、他で補えているか、依頼時に検討してもらっている。 	4	7			<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議等も開かれ、サービスについて話し合いが持たれていると思います。 ・日常的に、事業所とケアマネ、ケアハウスの情報は共有され、必要に応じてご利用者への支援が検討・実施されています。 ・新たな社会資源情報の収集や情報の提供はどのようにされているのでしょうか？職員個人により持っている社会資源情報量が異なるような気がしますが。 ・事業所として多職種連携を積極的に心がけてほしいです。 ・生活支援を他で補ってもらったケースはあるか？(配食以外) ・問題があった際、ケアマネを通して検討できていると思います。

26	<p>病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている <u>(※任意評価項目)</u></p>	1	10			<p>・退院前カンファレンス等を通し在宅生活での継続へ向けての情報共有を行っている。 ・病院から急な退院のため、退院前カンファレンスや担当者会議等、退院後の生活について話し合われずに退院されるケースがあった。</p>	1	9		<p>・直接関連した例はないのですが。 ・退院時の情報(病気、ADLなどの情報)各スタッフの共通認識。 ・サービス担当者会議等も開かれ、サービスについて話し合いが持たれていると思います。)。 ・3病院では退院支援看護師の配置がされており、退院に向けて準備が必要な方はカンファレンス等が行われているところであると思いますが、諸事情により、急な退院となってしまうケースも中にはあるのが現状かと思われます。 臨機応変に、また退院後であっても病院や担当CM、事業所、必要であれば包括も、多職種で連携し、安心して在宅生活の継続ができるとよいと思います。 ・以前に比べ、病院も退院時カンファレンスには積極的であり、スムーズな在宅移行が出来ているケースが多い。その中、何もされず退院に至り、退院後混乱を招くケースがある事が否めないが、急なサービス依頼があっても迅速に対応していると思う。 ・病院はもっと在宅生活のことをよく理解して、退院してもらうように伝えていく必要がある。 ・ケアマネを中心にカンファレンスを開催され、それぞれの意見交換、情報共有ができていていると思います。</p>
----	--	---	----	--	--	---	---	---	--	--

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献													
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている <u>(※任意評価項目)</u>	2	10		<ul style="list-style-type: none"> 日々の身体機能が落ちないように、長期ショートステイの場合には介護方法を伝えて、在宅生活の継続を重視した。 連携に対してはタブレットを有効活用できる様、問題意識を持って使用し、システムや関連機関に提案している。 	1	4		<ul style="list-style-type: none"> 日常的に、事業所とケアマネ、ケアハウスの情報は共有され、必要に応じてご利用者への支援が検討・実施されています。 フェニックスに参加していない事業所との連携を更に強化できると良いと思います。 在宅生活を重視しているのでいいと思います。 		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案													

①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	3	15			<ul style="list-style-type: none"> ・会議録は誰でも見られるようになっている。 ・タブレットにて会議での内容が共有されている。 ・目にして読んでいても、意識的に記憶できていない。 	3	16		<ul style="list-style-type: none"> ・自由閲覧の場合、見る人と見ない人に分かれる。職員全員に周知するには伝達講習などが必要でしょうか。できている人の割合が増える方法の検討があると良いと思います。 ・広報誌は拝見しています。 ・地域へ情報発信していると思います。 ・記録に残してい行く。 ・会議後、議事録を届けていただいております。会議参加メンバーが多岐にわたり、内容が濃いと思いますが、せっかくの機会なので、1時間ではなく、せめて1時間半くらいの時間だと良いのでは。 ・会議録が誰でも見られるようになっているようであるが、実際全職員が閲覧しているのでしょうか？連携会議で出た議題や問題を職員で共有出来ているでしょうか？ ・議事録の開示がされており、迅速な情報発信ができていと思う。議事録の内容も各委員が話した内容が詳細に記載してあり良いが、会議で決まった方針などあれば書いてあると会議の成果が分かりやすい。 ・会議内容の理解・共有を深め、現場職員の意見も聞けると良いのでは。 ・会議録だけ見ても理解は難しいと思う。 ・十分だと思う。 ・している。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	15		<ul style="list-style-type: none"> ・「まもーる通信」により、広報が出来ているが、3か月に1回のため、もう少し知れる機会が増えると良い。 ・広報誌を作成、発信し、地域へサービスの内容等、周知を行っている。 ・地域への情報発信として広報活動を定期的に実施していく必要がある。 ・広報の依頼があればサービスの紹介なども行えている。 	8	10		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の作成や地域への情報発信など苦勞されている現状を知りました。当事業所の方からも定期随時のサービスについて学習会等で広報していきたいと思います。 ・どの程度地域へ配布かわかりませんが、当事業所で確認させて頂いています。 ・地域へ情報発信していると思います。 ・季節ごとのデザインや色合い、絵もとり込み見やすい通信が良いと思います。 ・継続して行く。 ・「まもーる通信」は、地域の方や多職種の記事があり、一方的な情報発信ではないところが良いと思います。忙しい中での作成は大変と思いますが、継続して続けていただきたいです。 ・「まもーる通信」はどの程度広まっているのでしょうか？「まもーる通信」を見た人から何か反応はありましたか？ ・まもーる通信は、介護保険制度だけでなく民生委員の活動など地域の社会資源を分かりやすく解説してありとても良いと思う。 ・とても分かりやすい広報誌になっているので理解を広めるためにも継続して行ってほしい。高齢化が増々進む中、大事なサービスなので、地域に対し今後もきめ細かく周知をして欲しい。 ・定期的に広報誌を出しており見習いたい。一般の意見として、同じチラシでも何回も回覧板で回さないと、目にとまらなと言ってもらいました。 	

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価			
				実施状況				実施状況			
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない
事業所コメント				外部コメント							
II 過程評価(Process)											
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画											
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画											
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	2	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・良く分かっていない職員も多いのではないかと思う。 ・十分に理解しているとは言い難い。 ・法改正に合わせての、計画の内容も把握、理解が不十分である。 ・当該サービスをはじめとし、地域密着型サービスについて地域包括ケアシステムの役目であることを理解している。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、皆が同じ方向を向いていくことが大事になってくると思いますので、市の方針や計画の内容については、しっかりと理解する必要があると思います。 ・まさに、定期随時(しなのHH)が、地域包括ケアの軸を担っていることを、職員皆さんが誇ってほしいと思います。 ・行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画についてどのように情報が得られ、伝えられているのでしょうか？ ・わからない職員に対して研修の機会を設けて情報を共有してほしい。 ・なかなか理解するのは難しいと思う。 		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	5	12	<ul style="list-style-type: none"> ・提供範囲ぎりぎりまで展開している。 ・地域へ展開している。 ・他事業所と連携し、エリア外については相談次第で依頼も受ける。 	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・様々に提供されています。 ・時には地域外のお宅にも訪問されていたと記憶しています。 ・中々混んでいて利用できない時は残念、と思うこともあります。 ・旧長岡市内の市民は、介護が必要になっても、施設:在宅を選択できることが幸せと思います。(そのことをもっと知っていただきたいです) ・少ない職員数でできるだけニーズに応えようとぎりぎり範囲まで訪問に行っていると思います。 ・できていると思います。継続して展開すると良いと思う。 ・広く展開しているが、人員の都合で受けられないのは残念。 ・是非お願いしたい。 		

③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>		6	5		<ul style="list-style-type: none"> •まだ一部の職員でしかできていない。 	1	8	6	<ul style="list-style-type: none"> •これは難しいことなので、長い目で見ていけば良いと思います。 •事業所内外での連携が必要です。 •安心して暮らせる「まち」の範囲。人、物～介護など広すぎる。 •一部の職員でも、できているところを評価にあげて良いと思います。 •よく把握していません。 •他地域の話も聞く。 •例えば地域ケア会議等に参加された時等、個別ケースの課題解決を出発点とし、地域の課題にも目を向けた視点を持てると、よりよい支援にもつながっていくと考えます。 •出来ている一部の職員が出来ていない職員に伝達できる機会があれば良いかと思えます。 •地区パッケージを提供から地域について話題が広がった。まずは地域を知るところから、そして今後は地域の課題等も共通認識とし、課題解決に向け関係機関で連携していけると良いと思う。 •多職種の会合への出席や推進会議で市、警察、消防等、地域住民との意見交換等努力していると思う。地域行事等、積極的な参加を頂きたいと思う。 •周囲に伝わりにくい所があるかもしれません。 •どの様な活動をするのかはつきりしない感じがあります。評価できません。以前より行っている寸劇などがこの活動に入るのならば「ほぼできている」に入ると思うのですが… •頑張っていると思う。
---	------------------------------------	----	--	--	---	---	--	--	---	---	---	---

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
事業所コメント				外部コメント								
Ⅲ 結果評価 (Outcome)												
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	14			<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムが安定されることにより、目標の達成へと繋がる方もいる。 目標達成できるように自立支援につながるようサービス提供を行っている。 	5	8		<ul style="list-style-type: none"> その都度のプラン変更はケアマネジャーと並行して必要だと思われます。 利用者毎に目標を立て、サービスを提供している。 計画目標が達成できるよう、変化に合わせてサービス内容の変更等行われていると思います。 目標達成に向けて工夫努力が感じられます。継続されると良いと思います。 目標達成というのは定期随時の卒業ということでしょうか？ 助かっています。 サービスが入ることで、生活が安定され、安心して在宅生活を過ごせているのでとても良いと思います。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	5	12			<ul style="list-style-type: none"> コール対応などにより、安心感へつながっていると、ご本人だけでなく、ご家族からの言葉がきかれることがある。 サービスを利用する中で「安心だ」という声を頂いている。離れて暮らすご家族からも同様の声を頂いている。 特に定期随時のご利用者からは一日に何回も訪問してもらって安心できているという言葉が聞くことが多くある。 ご本人、ご家族とも安心して生活が出来ているが、ご家族が介護を負担に思われていることもあり、介護負担も今後は考えたアセスメントが必要だと思う。 	11	7		<ul style="list-style-type: none"> 難しいお宅で、よくやっただけに思っています。 安心を得られている方は多いと思います。(本人も家族も) 家族はじめ、本人はもちろん大いに安心できる環境を整えていると強く感じています。いつもありがとうございます。 安心感は皆さんもっていると思います。 定期巡回型介護が無かったら在宅生活は難しかった。 ご利用者の心身の状況に応じて、定期的な巡回や随時通報への対応などが行われることで、重度者をはじめとした要介護高齢者の在宅生活を24時間365日支えられていると思います。また医療ニーズが高い高齢者に対して、医療と介護の連携がなされており、安心して在宅生活が継続できるサービスとして重要な役割を果たされていると思います。 ご利用者・家族とも、定期随時をご利用されて安心した生活を継続できていると思います。 ケアハウスとしても、ご利用者を多面的に支援していただけているということから、非常に安心感を持っています。他法人のケアハウスから、介護が必要になったらケアハウス退去しなければならないという話を聞いた時、定期随時のサービスの必要性を強く思います。 定期巡回サービスがあるから、在宅生活が継続できるという利用者様も多いと思います。地域包括ケアシステムの中で定期巡回は要となるサービスですのでこれからも誇りを持って頑張ってください。その中で、定期巡回でも補えず、施設入所に至るケースは具体的にどんな物があるか教えてください。

